国語科

『羅生門』から「作者の意図」を考えよう

作品を比べることで、読みを深める

1 授業内での取り組み

生徒	授業時間	使用ツール	共有媒体
35 名	2 時間	タブレット	Padlet

『羅生門』と典拠となった『今昔物語集』を比較して読み、共通点・相違点を整理。
そこから「作者の意図」について考え、 Padlet で全体共有しました。

2 目的

作品や文章の歴史的・文化的背景を理解しながら、比較を通して作品への解釈を深め、共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。

3 様子

1. 『羅生門』と『今昔物語集』を比較
2. 共通点・相違点をまず整理
3. 付属資料を使って「作者の意図」を考える
4. Padlet に考えを書き込み全体で共有

4 結果

生徒が自主的に作品の背景を調べる姿が見られ、「羅生門は『生と死』をテーマとした舞台なのではないか」など、多様な考察が生まれました。